

野村八良 （明） 國文學者、文學博士。明治十四年二月十四日爲取縣
生れ、昭和四十一年一月二十日（八八一—一九六六）。號岱川、袋川。愛媛
縣立常中學校卒業後、中等・高等教員免許取得。東京府立第一高等女
學校教諭、東京高等學校教授、女子學院講師、跡見短期大學教授等
歴任。

著書、『語下能のわびぐち』（野村袋川名、合著・能楽放談會編、大
正七年四月）、『磯部甲陽堂』（國民童話）（大正十一年十月—二十
五）、『國史講習會「文化叢書」』（鎌倉時代文學新論）（大正十一年十
二月五日明治書院）、〔近代〕『時代說話文學論』（昭和十年九月—二十日明治
書院）、『武士道精神』（合著・武士道學會編、昭和十六年十一月
十一日帝國書院編輯會）、『國文學論考』（昭和十七年四月—二十五日八
木書店）、『國學思想史』（昭和十八年七月十九日明治堂書店）、『田
中大秀』（合著・松室會編、昭和二十九年六月—二十五日岐阜・斐太申
史印刷株式會社）等。

